和牛博で南部町をPR

5年に一度、全国の優秀な和牛が一堂に会して日本一を決める和牛の品評会、和牛博覧会inとっとり（第9回全国和牛能力共進会）が10月11日から14日まで行われました。

メイン会場の崎津住宅団地（米子市大崎）では、鳥取県農林水産祭が同時開催され、南部町は特産品の梨やいちじくなど地元の味を出展しました。中でも山菜おこわやモロヘイヤうどんに人気が集まり、食事時にはブース前に長い列ができました。

南部町の販売ブース前

献穀斎田選米式

10月17日、三崎公民館で新嘗祭に献納する献穀米の選米作業が行われました。

献納する米は、鳥取県の奉仕者に選ばれた古木松衞さん（三崎）が所有する水田で育てられ、9月20日に収穫されました。公民館には集落の方など18人が集まり、ピンセットを使って、変色や欠けた米などがないか、一粒ずつ選米していきました。厳選された1升の米は、10月24日に皇居で天皇陛下に献上され、11月23日の新嘗祭に献納されます。

欠けた米などを一粒ずつ取り除く

秋の山菜会

秋の山菜会が10月19日、レークサイドアリーナで開催され、428人が南部町の秋の味を楽しみました。

13種類の茸を中心に、山菜や川魚など35種類の素材を使った料理10品が並び、山菜ごはんのおかわりには長蛇の列ができました。境港市から参加された女性は「茸が好きなので、色々な茸が食べられると聞いて今回初めて参加しました。おいしくて盛付けも上品だし、とても満足しています」と話されました。

秋の味覚を楽しむ参加者

楽しい交通安全指導

10月25日、ひまわり保育園で山陰中央自動車学校の職員6人と天萬駐在所の本泉巡査による交通安全教室が開かれました。

教室では、山陰中央自動車学校の職員が扮する、赤・黄・青のシンゴーマンが登場し、園児たちにわかりやすく信号の渡り方や、道路の歩き方などを教えました。

園児たちは、元気よく動き回るシンゴーマンに興味津々の様子で、楽しみながら交通安全を学んでいました。

信号の渡り方を教えるシンゴーマン

緑水湖健康マラソン大会

10月21日、第20回緑水湖健康マラソン大会（主催　緑水湖健康マラソン大会実行委員会）が開催されました。県内外から例年を大きく上回る約600人が参加し、秋晴れの緑水湖畔で汗を流しました。

米子市からウォーキングに参加された女性2人は「いい天気でゆっくりさしてもらいました。毎年参加していますが、今年は例年以上に進行がスムーズでよかった。山菜おにぎりをいつも楽しみにしています」と話されました。

一斉にスタートする参加者

細田企画が環境大臣表彰

株式会社細田企画（天萬）が、廃石膏ボードの分別処理機やリサイクル装置の開発によって、リサイクルの推進に寄与したことを評価され、平成19年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰を受賞しました。代表取締役の細田稔さんは、「今回製造部門での受賞は私ども1社でした。我々のような小さいメーカーでオリジナルのものを創る会社がこのような評価をいただくのはうれしく、励みになります。」と話されました。

賞状を手にする細田稔代表取締役

地域の安全に貢献

10月16日に行われた鳥取県地域安全フォーラムで、西伯小学校PTAが、長年地域の安全活動に取り組み、功績を上げたことが評価され、風俗環境浄化功労団体として表彰されました。

表彰について、西伯小学校PTA会長の生田則朗さんは、「永年、PTA会員やご家族の皆様方が、子どもたちのために取り組んでいただいているおかげだと感謝しております。今後とのご協力をお願いいたします」と話されました。

西伯小学校で展示されている賞状

思い出の法勝寺電車展

廃線から40年を迎えた法勝寺電車の写真や信号機など実際に使われていた道具を展示する「思い出の法勝寺電車展」が10月25日から祐生出会いの館で開催されています。

会場を訪れた男性は「学校時代に4年間法勝寺電車で米子まで通っていた。写真を見て、あの頃の思い出が甦ってくる」と話されました。

展示は11月26日まで行われ、併せて板祐生のコレクションから鉄道に関するポスターなども紹介されています。

展示された写真に見入る来場者